

試合番号 : 315	試合会場 : 北ガスアリーナ札幌46 (札幌市中央体育館)	観客数 : 513
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:44	試合時間 : 01:44
主審 : 明井 寿枝	副審 : 上總 向貴	
デンソーエアリービーズ 通算 2勝 3敗 ポイント : 6	KUROBEアクアフェアリーズ 通算 2勝 3敗 ポイント : 5	
監督コメント 先週に引き続いてのホームゲームとなり、連勝を目指して試合に臨みました。ゲームの序盤からサーブ&ブロックで主導権を握ることができました。中盤からはオフェンスが機能して優位に進めることができました。第3セットは相手の攻撃を抑えられずに取り切れませんでした。第4セットはチームの粘りが出せて、エアリービーズらしいプレーができました。ホームの皆さんの熱い声援を力に変えて、明日も頑張ります。今日はありがとうございました。	監督コメント 相手チームのミスの少ないバレーとブロックのプレッシャーに対し、こちらからミスを出してしまいました。良いリズムを継続できず、悔しい敗戦となりました。本日の課題を明日の試合に修正できるよう、良い準備をしたと思います。本日もありがとうございました。	
要約レポート KUROBEアクアフェアリーズを迎えて、デンソーエアリービーズの札幌でのホーム開幕戦。両チームのオポジットが強烈なスパイクを打ち合う見応えのある一戦となった。第1セット、中盤まではシーソーゲーム。終盤、デンソー・ネリマンの連続スパイクとブロックでKUROBEを突き放し、デンソーが先取る。第2セット、序盤からKUROBEコクラム、レフト高橋の活躍があったものの、中盤、日本代表であるデンソー横田(真)の連攻とブロックを皮切りにKUROBEを一気に突き放し、デンソーが連取。第3セット、後がないKUROBEは流れを変えるべくイブキに代わり梅津がスタートから出場。梅津、高橋のサイドからの攻撃が効果的に決まり接戦の末、KUROBEがセットを奪う。第4セット、コクラムのブロックやセンター山口のスパイクでKUROBEがいいスタートを切ったかに思われたが、中元の3本連続のスパイクなどでデンソーも応酬。終盤まで一進一退の攻防となったが、最後はネリマンのスパイクが決まりデンソーが勝利を取めた。		

試合番号 : 316	試合会場 : CNAアリーナ★あきた (秋田市立体育館)	観客数 : 2,520
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:23	試合時間 : 01:23
主審 : 津嶋 由香	副審 : 高橋 宏明	
日立Astemoリヴァーレ 通算 3勝 2敗 ポイント : 9	東レアローズ 通算 4勝 1敗 ポイント : 10	
監督コメント 秋田でのホームゲームということで、多くの方に会場に足を運んで頂きパワをもらいました。この熱いご声援の中で、そして更には合宿でお世話になったこの秋田の地で皆さんに勝利をお届けしたかったのですが、敗れてしまいました。中盤までは粘り良いプレーも出ましたが、後半我慢しきれず勝ち切ることができなかった今日の反省を明日に繋げます。明日こそは勝って皆さんと喜べるようしっかり準備し、挑戦者の気持ちで試合に入りたいと思います。明日も熱いご声援をよろしくをお願いします。	監督コメント 本日も沢山のご声援ありがとうございました。力強いサーブで攻めてくる日立に対して、自分たちのオフェンスをどう機能させていけるかという所にポイントを置き、先週の試合で出した課題の一つ一つ丁寧に取り組んできた事が勝利に繋がったと思います。明日の試合はまだ今日と違った展開になると思いますので、チーム全員が明日の勝利に向け準備したいと思っています。応援よろしくをお願いします。	
要約レポート 日立Astemoリヴァーレが東レアローズをホーム秋田に迎えての一戦。第1セット、序盤の一進一退の攻防から東レが石川のスパイクなどでリードを広げる。対する日立Astemoはオクム大庭や上坂にトスを集め応戦する。終盤、東レはリリーフサーバーが入った黒後のサービスエースなどで日立Astemoを引き離し、最後は小川がスパイクを決め第1セットを先取した。第2セット、東レは石川、クランにトスを集め着実に得点を重ねる。流れを変えたい日立Astemoは秋田県出身の野中と室岡を投入し、一時2点差まで詰め寄る。対する東レは石川の3連続得点などでリードを広げ、日立Astemoを引き離しセットを連取した。第3セット、日立Astemoは東レは序盤からクランや石川を中心に着実に得点を重ねる。後がない日立Astemoは長内、オクム大庭らのスパイクやタップのブロックなどで追いつき、一時逆転する。セット終盤、東レは大崎のサービスエースや石川、クランのスパイクで日立Astemoを引き離し、セットカウント3-0で東レがこのゲームに勝利した。		

試合番号 : 317	試合会場 : 金沢市総合体育館	観客数 : 705
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:59	試合時間 : 01:59
主審 : 森口 豊	副審 : 菅原 潤	
PFUブルーキャッツ 通算 1勝 4敗 ポイント : 5	トヨタ車体クインシーズ 通算 1勝 4敗 ポイント : 3	
監督コメント 勝ち星がない中、この1週間チーム全体として苦しかったと思うが、集力を発揮し、不安な気持ちを払拭してくれた。会場の皆さんの後押しもあり、いい形を作って勝利を取ることが出来たと思う。本日も沢山の応援、ありがとうございました。	監督コメント 本日のゲームは1-3で敗れたが、しっかり切り替えて明日もう一度準備をしようと思う。第1セットのスタートこそ良かったものの、第2セット以降相手のオフェンスに対応しきれなかった所が敗因であった。本日も応援ありがとうございました。明日もよろしくをお願いします。	
要約レポート 初白星を取って勢いに乗りたいPFUブルーキャッツがトヨタ車体クインシーズを迎えてのホーム戦。第1セットはトヨタ車体のリードで試合が始まるが、PFUがアコスタの打点の高いスパイクを中心に得点を重ねリードを奪う。終盤にかけてトヨタ車体ダニエルがブロックやスパイクで活躍、リードを再度奪いセットを先取した。第2セット、中盤まで両チーム取っては取られてのシーソーゲームを繰り返す。中盤、志摩の渾身のレシーブで繋げたPFUがリードし、その差を守り切りセットを取り返した。第3セット、PFUが力強い強打と巧みな軟打を繰り返して攻撃により、序盤からリードを広げる。中盤、トヨタ車体はセッター山上を中心に攻撃を組み立て、点差を縮めることができず、PFUがセットを連取した。第4セット、長いラリーの末、粘り強いプレーをしたPFUが1点を取ると、流れをつかみ得点を重ねる。トヨタ車体もハッタヤのスパイクや鳴原のサービスエースで応戦するが、最後はPFUバルデスが強烈なスパイクを決め初勝利を挙げた。		

試合番号 : 318	試合会場 : 加古川市立総合体育館	観客数 : 554
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:22	試合時間 : 01:22
主審 : 吉岡 奈々	副審 : 栗崎 慎太郎	
JTマーヴェラス 通算 4勝 1敗 ポイント : 11	埼玉上尾メディックス 通算 4勝 1敗 ポイント : 12	
監督コメント 私たちのホームでの戦い、多くの方々に勇気をもって前を向いて戦ってくれました。一人ひとりが自分たちのやるべきことを果たしたと思います。まだまだ精度を上げることが出来るチームなので、一人ひとりが力を100%出し、多くのコミュニケーションをコート内で出していきたいです。明日もJTファンの方々と共に戦っていきます。今日はありがとうございました。	監督コメント 今日はJTの攻撃に押されて、自分たちの持ち味であるミドルブロッカー中心の攻撃を機能させることができなかった。これ以上言葉が出ません。気持ちを切り替えて明日に向けて頑張ります。引き続きのご声援よろしくをお願いします。	
要約レポート シーズン加古川でのホームゲーム第一戦となるJTマーヴェラスが、開幕4連勝と絶対調の埼玉上尾メディックスを迎えての試合。第1セット、序盤からJTのロウが高さのあるスパイクを決め、大きくリードをする。対する埼玉上尾は、中盤から流れを取り戻し、目黒、佐藤の両サイドアタッカーが得点を重ね、22-22と同点に追いつく。最後は25-23でJTが先取した。第2セット、JTの西川、田中の力強いスパイクが決まり、このセットも主導権を握る。埼玉上尾は、セッター岩崎のトスから繰り広げられるサンティアゴの素早い攻撃と目黒の強烈なスパイクで食らいつくが、25-22でJTがセットを連取する。第3セットに入っても、JTのタツタオと西川の連続ブロックにより、相手に全く隙を与えない。一方、埼玉上尾は吉野、山崎の2枚代で流れを変えようとするもJTの勢いは止まらず、15-5と突き放す。この試合、常にリードを保ち続けたJTがセットカウント3-0でこの試合に勝利した。		

試合番号 : 319		試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイング体育館 (姫路市立中央体育館)				観客数 : 1,354	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:15		試合時間 : 02:15		主審 : 城 智人	
						副審 : 岩井 好恵	
ヴィクトリーナ姫路 通算 1勝 4敗 ポイント : 5		久光スプリングス 通算 4勝 1敗 ポイント : 11		1		3	
今シーズンのホームゲーム開幕戦に大変多くの皆様にご来場賜り、誠にありがとうございました。 ゲーム序盤は久光スプリングスの強固なブロックに攻撃を阻まれ思うようなゲーム運びができなかった。 第2セット以降、攻撃が機能し始め接戦に持ち込めたことは収穫である。 今日のゲームを振り返り、戦術的修正を行って明日のゲームに臨みたい。 明日も皆さまのご来場を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。		今シーズン初のアウェイでの試合ということで、まずは自分達からエネルギーを出して戦っていかうと意気込んで臨んだ。 相手のホームゲームの勢いに押される展開が何度もあったが、雰囲気にもれず最後まで集中してプレーすることができた選手たちを称えたい。 勢いある姫路に勝つための準備をしっかりと、明日の試合に臨みたい。 本日もたくさんの応援ありがとうございました。		第1セット 25 第2セット 25 第3セット 17 第4セット 32 第5セット			
要約レポート ヴィクトリーナ姫路の今季ホームゲーム初戦は、久光スプリングスを迎えての一戦。 第1セット、久光はファンヘッケや荒木のアタックでリードする。姫路はブラクや古市のアタックで反撃するが、中島のアタックが効果的に決まり、久光がセットを先取した。 第2セット、中盤に久光は平山のサービスエースでリードを広げる。姫路は佐々木のブロックで対抗するが、ファンヘッケの強烈なアタックが決まり、久光がセットを連取した。 第3セット、序盤から姫路は櫻井のブロックや田中のアタックでリードを広げる。久光は深澤のアタックで対抗するが、最後は宮部がブロックを決め、姫路がセットを奪い返した。 第4セット、久光は戸江の安定したレシーブから菜のトスワークが冴えリードを広げる。姫路は清田のサービスエースや全員でつないだ長いラリーを制して流れを変え、デュースまでもつれ込んだ。最後は久光・深澤が決め、セットカウント3-1で勝利した。							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
						副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
						副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
						副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							